



少数精鋭部隊が加工を手がける

- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンライン技術
- メインジャンル
- 試作可小ロット
- 量産対応

# 有限会社 テクノ神明 ステンレス加工のノウハウで 顧客の課題を解決

**主な事業内容**  
ステンレス、アルミ、鉄、真ちゆう、  
難削材などの加工

**主な取引先(納入先)**  
工業用測定機器メーカー、自動車関連商社、  
衛生用品製造機器メーカー

**主な製品**  
測定機器部品、自動車組立ライン治具部品、  
衛生用品製造機器部品

## 業務内容 ステンレス加工中心に 金属加工を展開

テクノ神明は、旋盤加工に軸足を置く金属加工会社。汎用旋盤やNC（数値制御）旋盤などを駆使し、ステンレスやアルミ、鉄などから、インコンレ、ハステロイといった難削材まで加工できる対象は幅広い。昭和32年の創業当初は、鉄製パイプのカットやねじ切りがメインだった。創業から7〜8年目に温度計部品を受注するにあたって、ステンレス加工に舵を切った。以来、多くのステンレス加工ノウハウを蓄積し、他社がさじを投げるような加工さえ、顧客が納得する品質で提供してきた。だからこそ、まっとうな加工費を設定する。「いいモノが安いわけがない」と、山本悦司社長は力を込める。

## 強み 長年のノウハウ蓄積で 難しい加工にも対応

昔の旋盤加工の現場は市販のワークスを調達し、火をおこして刃物台を作ったという。調達したチップも削り直して、バイトにろう付けを行う。棒状のチップ母材を用いて「すくい」をつけるなどバリエーションが幾通りもあった。同社はこうしたノウハウを受け継ぎ、市販の

刃物で加工できないワークで生かしている。

また、工程中の検査によって、高品質加工を実現している。最低でも抜き取り検査によって公差をチェックし、必要があれば適正に補正する。他社で不良が発生する形状も、問題が起きたことはない。「品質、精度の評価は高い」と山本社長は胸を張る。

## 設備投資 新設備導入でさらに 難しい加工へ挑戦

現在、手がける製品は自動車メーカー向けの治具や半導体製造装置部品など要求精度の高いものも多い。そこで平成30年に複合加工機、令和元年に3次元測定器を導入した。「さらに難しい加工を可能にし、これまで得られなかったデータを取って顧客の納得を得る」と山本社長は解説する。さらに営業改革にも手をつけた。社長のトップセールスをやめ、営業の専任トップを置いた。今後は営業と製造の役割分担を明確にし、能動的に展開させる。

山本社長は「工場も手狭になってきた」と語る。次にバトンを渡すことを考えており、65歳までの6年間で思い描く写真の実現をめざす。

### 社長あいさつ



代表取締役  
山本 悦司さん

少数精鋭で、適正なコスト・ハイオリティのものづくりに楽しく取り組んでいます。創業以来、蓄積してきた多くのノウハウは当社の強み。現在は難削材や樹脂、そのほかの部材も加工対象に、試作から量産まで対応しています。設備の充実で当社の事業領域は、さらに広がっています。

### 主な保有設備

- NC旋盤 QT 8N(φ200×270L)  
ヤマザキマザック製 1台
- NC複合旋盤 SQT 10N  
(φ250×300L・φ43パーフィーター付)  
ヤマザキマザック製 1台
- NC複合旋盤 NL 2000Y  
(φ300×500L・φ65パーフィーター付)  
DMG森精機製 1台
- NC複合旋盤 CL 1500  
(φ250×300L)DMG森精機製 1台
- NC複合旋盤 QUICK TURN 100MY  
(φ250×300L)ヤマザキマザック製 1台



住所 / 〒591-8014  
堺市北区  
八下北2-34  
TEL / 072-257-3134  
FAX / 072-257-3001  
創業 / 昭和32年9月  
設立 / 平成9年9月  
資本金 / 300万円  
従業員 / 7名



3次元測定機による測定



令和2年導入の新型複合旋盤



<http://www.techno-shinmei.co.jp/>